

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697000034
法人名	医療法人 坂元内科クリニック
事業所名	グループホーム すまいる
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉8355番地2 (電話) 099-471-7250
自己評価作成日	平成28年1月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「すまいる」の名前の通り毎日を明るく笑顔で入居者も職員も過ごす事ができるように援助しています。医療法人が母体である利点を活かし体調管理にも気を配っています。

入居者の方が穏やかに生活を送る場所として、菜園で出来た作物を使って食事を提供したり、季節の行事や食事会等を提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ 当事業所は母体である医療機関が隣接し、24時間医療連携体制が整っている。看護職員体制も確立、定期的往診や歯科往診も定期的により医療が充実している。
- ・ 食生活は、自家菜園で作った旬の野菜を主に食材として、収穫も利用者と共にやっている。食事チェック表で個々の状況に応じた水分補給、摂取量、形態等、配慮している。食前・食後の口腔ケアに努めている。
- ・ 昔からのかかりつけ医が当ホームの主治医であり、馴染みの人や場との関係が自然体で継続している。
- ・ 「すまいる」の理念である、『笑顔で接する。ペースに合わせた介護。地域との連携』を職員は利用者と共に、温かな家庭の暮らしを支援している。
- ・ 代表者や管理者は職員の資質向上に協力的で職員も自己研鑽に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	室内に理念を常に提示し自分達のケアの振り返りが出来るように努めている。	地域密着型の理念を、玄関や詰所・室内に掲示している。毎月のミーティングで唱和し、理念の内容を確認して振り返り、話し合いを行い、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の自治会に参加している。また、運営推進会議には、地域代表者の方にも参加して頂き双方の交流が出来る様に心がけている。	自治会に加入し、回覧板等で地域の状況を理解し交流を図っている。近所から野菜の差し入や地域の方が立ち寄り会話したり、中学生の職場体験、演芸ボランティアも来所して日常的に交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生などの職場体験なども積極的に受け入れを行う。また、地域での認知症作業部会内でも民生委員の方と協力し地域への認知症理解などに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に会議の場で写真なども資料に加え日常の事なども議題として、より具体的な取り組みが出来る場としてサービスに活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催され、ホームの現状報告や行事報告・ヒヤリハット・事故報告・外部評価の報告等が行われ、参加者からアドバイスや意見交換が行われている。DVD購入や家族との敬老祝いの件・散歩について等の提案が出され、ケアに反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>日頃より地域の会議などにも積極的に参加し、市町村担当者とも連携を図り協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>町担当者とは書類更新時等に役場に行き相談したり情報収集をしている。運営推進会議に参加してもらい取組を伝えながら、日頃から連携をとっている。行政からの連絡は電話やFAXで行われている。町主催の研修会等に積極的に参加して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束禁止の宣言を玄関に提示すると共に職員間でも特に事故、ヒヤリハットなどが起き対応の仕方など協議する際に身体拘束にあたらぬケアの提供ができる様に確認している。</p>	<p>指針・マニュアルがあり年間計画で定期的に勉強会を実施、身体拘束ゼロを実践している。言葉の拘束や徘徊者への気配り等、職員の連携で対応している。ケアで不明瞭な時は行政に相談している。玄関に「身体拘束禁止」の宣言を掲示して、身体拘束をしないケアを実践している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	院内研修などで繰り返し行い虐待防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度などについて学ぶ機会を設けている。必要時は専門家の方への相談も含め対応する。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に家族の方の理解度に合わせ十分な説明を行う。疑問点などについては細かく説明ができる様に努めている。後日の疑問や不安点などもその都度答えられる様にしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱なども設置しているがそれ以外で家族からの話や要望などについてもその都度早急に改善や変更などの対応を行っている。	利用者とは何でも話し合える雰囲気づくりに努め、日常会話からくみ取る様心がけている。家族からは面会時や家族会・敬老会・遠足に同行している時などに意見や要望を聴いている。敬老会ではバーベキューの食事会をして、意見の出やすい雰囲気作りをしている。時代劇DVD購入やリハビリの取り組みついて等、要望はケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングだけでなくその都度職員の意見や提案などは状況に応じて話し合いの上反映させている。</p>	<p>開設当初からの職員がほとんどでコミュニケーションも良好である。意見や提案も積極的に出され改善につながっている。申し送りノートでの情報の共有、毎月の職員会議での意見交換、年2回の評価と面談で意見や提案など言いやすい環境となっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職場の環境の整備や給与の状況なども考慮され徐々に整備されている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の参加を個人の能力にあわせ設定し内容もスタッフ間で共有しケアスタッフ全体でスキルの向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大崎町内事業所間のネットワークにも参加し大隅グループホーム協議会にも加盟し徐々に交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に訪問し本人のお話を聞き意見を汲み取るように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申し込みの際に必要な事項だけでは無くご家族の不安やご意見を聞くように心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の申し込みの際に本人やご家族の要望や希望を聞き、一番適したサービスを提供できるようにご本人へ対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で本人の意思を尊重しながら充実した生活を図ると共に共同生活の一員であることを感じて頂けるような関係作りを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の面会などの協力も得ながらより良い関係を築くように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>自宅近隣へのドライブや行きつけの美容院への外出や訪問などを受けるなど関係性の維持を支援している。</p>	<p>母体が同敷地内のクリニックということもあり、親族や友人・知人の受診後の面会も多くお茶を出して居心地よい雰囲気づくりをしている。個別に自宅周辺へのドライブや墓参り、電話の取次ぎや家族の協力で外泊や外出など関係継続への支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>体操やレクリエーション、テレビ鑑賞などで利用者同士が関わられる時間を作っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後も必要に応じ状況を勘案し支援していくように努めます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活の中で本人が表現される内容を本人の思いを把握できるように検討している。	入居時のアセスメントや家族からの情報をもとに日常会話や表情・しぐさから本人の思いを汲み取る様に心がけている。気づきや情報は申し送りノート等で共有し利用者本位の支援につながるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報だけではなく本人・家族との普段の接触の中でスタッフそれぞれが持ちえた情報を共有しそれによってこれまでの暮らしを深く理解できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々本人の状況や様子など入居時と比べながら記録などからも現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の写真入りのモニタリングを担当職員の行ったモニタリングを補足する形で作成し、現状に即したプランを家族を含め関係者と話し合いながら作成している。	介護計画は、本人や家族の希望や意見を聞き、担当者会議で医師や看護師の意見をふまえて作成している。モニタリングは月1回。6ヶ月毎に見直しをしているが、必要があれば、その都度、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録には日々の様子やケアなど分かりやすいように記載し職員間で情報の共有を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族それぞれの要望などに出来るだけ添えるように画一的でない個別の対応を行っているように支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議に地域代表の方に参加して頂いたり、行事には地域のボランティアの方の訪問を受けるなどしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所時より当施設の施設長が主治医となり定期的な往診も行われ、健康管理も行われている。専門医の受診やこれまでの専門の主治医の受診に関しては家族の意見も尊重し適切な医療が受けられるように支援している。</p>	<p>入居前から、当医療機関がかかりつけ医であり、家族とも連携をとっている。他科受診は家族が同行している。往診は主治医が月2回、歯科は週に4回の受診がある。医療的なことは看護師と連携を取り、適切な医療が受けられる様に支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の状況に応じて看護師と共有し状態に応じて臨時に受診し適切な医療を受けられている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院に関しては入院先の相談員ともよく相談の上でご家族、本人の意見を踏まえて退院など出来るよう関係作りを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>希望された方については協力の契約を結んでいる。特別養護老人ホームへの申し込みなどの説明を行い、当事業所で重度化にも対応できる事柄などについても説明を行っている。</p>	<p>入居時に指針を家族に説明し、文書化している。マニュアルもある。重度化になった時は、その時の状況に応じて、特別養護老人ホーム移転の事や、事業所でできる最大のケアについて説明し、方針を共有して対応している。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の事故発生などの訓練は今後も継続して行っていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は年2回行っており今後も行っていく。今後は地域との協力体制も充実したものになる様にしたい。</p>	<p>年2回消防署立ち合いの下、昼夜想定避難訓練を実施している。地域代表の協力や隣接の母体医療機関との連携もできている。スプリンクラーや火災通報装置・消火器の点検・避難経路の確認等を行っている。災害時の水やレトルト食品の備蓄もあり、年1回は賞味期限等の点検をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応が行えるよう努めている。	マニュアルがあり年間計画で勉強会を実施している。入浴介助やトイレ誘導・排泄介助時には羞恥心やプライバシーを守るように言葉かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で本人が自分の思いや希望を表現し易い雰囲気作りや関係性を築くようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自身の生活パターンやペースを尊重しその人らしさが発揮できる様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者一人ひとりの個性を大切に希望にあわせて理美容院の利用を支援している。服装は毎日の整容で整えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューは利用者の嗜好を生かし季節を感じる事が出来る工夫や視覚で楽しむ事が出来るようホットプレート等を使い目の前で調理するなども行っている。	入居時に嗜好調査をして、好みを把握している。食事形態の工夫、口腔ケアにも力を入れている。菜園で収穫した野菜や差し入れの野菜を食材として取り入れたり、ホットプレートを利用してお好み焼きや焼きそば、ホットケーキを一緒に作ったり、行事食や外食・花見弁当など、食事が楽しみなものになっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表にて水分、食事等の摂取量を把握し状況に応じては形態や介助方法を工夫し個々に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは本人の能力に応じた援助を行っている。その際、残歯や義歯の状態を確認すると共に定期的な歯科医、歯科衛生士の往診にてケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し一人ひとりの排泄パターン、回数などを把握し個々の能力を最大限に引き出す援助を行っている。	排泄パターンの把握を行い、基本的にトイレ誘導を実施している。研修会でおむつの当て方やパットの種類の検討など研鑽し、自立に向けた支援が行われている。改善が見られた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、ヨーグルトや繊維質の食物を取り入れた食事の提供、水分の摂取や運動量などにて予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週三回の入浴を行っている。入浴以外の日でも足浴を行い気持ち良さを味わってもらっている。	入浴は基本的に週3回、午前または午後に実施。希望があればいつでも入浴が可能である。入浴剤を使用したり、足浴を実施している。脱衣所の温度調整にも配慮している。保湿剤を使用している。入浴をいやがる利用者には声かけの工夫、時間差で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の希望に沿う形で休息できるように環境作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師により薬の説明をスタッフに行い臨時の処方後などは状態の変化などを個人記録に残すなど変化の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯物やおしぼりなどをたたんだり丸めたりする事で張り合いや喜びを感じて頂けるように支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	その都度天候の変化、利用者の体調を考え家族の協力の元自宅への外出。墓参りや季節を感じてもらおう為の桜並木やコスモスロードへのドライブなどの支援をしている。	日常的に天気の良い日は散歩で菜園を見に行ったり、近隣を散策している。テラスでのお茶飲み等、楽しんでいる。年2回家族も参加しての遠足や花見など外出の支援を行っている。自宅訪問や墓参りにも、職員が下調べして同行支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	現在お金の管理を行っている方はいらっしゃらないが今後希望に応じて所持できるように支援する。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	電話など希望の際や贈り物のあった時などには電話出来るように支援している。遠方のご家族にも新聞や写真などをお送りし関係が離れないよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>適度な広さと明るさもあり歩行でも車椅子でも十分に行き来できる環境を整えている。木造建築の温かみが家庭的な雰囲気を醸しだしている。</p>	<p>木の温もりが、やわらかな照明とマッチしている。ゆったりとした造りで採光や換気に配慮し掃除も行き届いている。畳スペースでは横になったり、冬場はこたつでくつろいでいる。ウッドデッキが広く、手軽に外気浴ができる。2台のテレビの前には大き目のソファが置かれ、台所からの調理の匂いに生活感があり、居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同空間の中で利用者の関係性も考慮しつつ個人にあった居場所の確保作りを日々工夫している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の中は家族との思い出の写真、誕生日等の贈り物、テレビを持ち込まれるなど居心地の良い空間を提供できるように工夫している。居室においても転倒防止の為滑り止めをつけるなど工夫している。</p>	<p>居室は大きな窓があり明るく、エアコンやベット・クローゼット・洗面台が備え付けである。家族と相談して持ち込まれたテレビやタンス・家族の写真・金婚式の写真などを飾り、居心地良く過ごせる環境となっている。生活習慣に合わせ畳の部屋も準備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人一人の能力を活かして出来るだけ安全に過ごせるよう状況に応じた工夫・対応をしている。建物内部（ホール）は四季をレイアウトして目で楽しんで感じて頂けるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない